

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	産業促進課	佐藤 一彦	2260

コード	IV-11-21	施策名	安定的な水産業経営の充実
施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす		
まちづくりの方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)		
5年後のめざす姿	白杵産の魚介類が地元で消費され、市内外で知名度が向上し消費が拡大する取組を強化します。地元で消費する仕組みづくりや流通ルートの確立、魚価の向上などにより、安定的な漁家経営を実現するとともに新規就業者の確保をめざします。		
施策の内容	白杵産魚介類の消費拡大の為、地産地消や魚食普及・啓発を進めるとともに、流通・販売の基盤を確立し、白杵産魚のブランド化を図ります。また、漁業の担い手支援や確保対策を進めるとともに漁港の維持管理・整備に取り組みます。		

<指標>

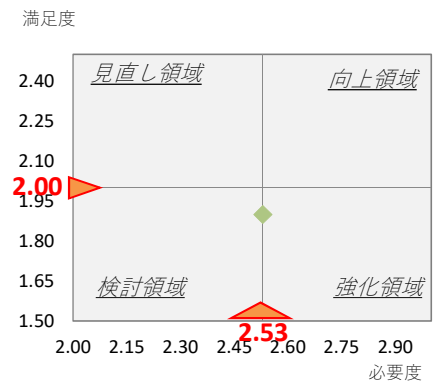
新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
新規就業者・漁業後継者の数【累計】	白杵市漁業担い手交付金申請数	白杵市漁業担い手交付金申請数	目標	人	8	10	12	14	15	
			実績		6	8				
			達成率		100.0%					
白杵ん地魚認定店の数【累計】	白杵ん地魚認定店の数	白杵ん地魚認定店の数	目標	店舗数	33	34	35	36	37	
			実績		32	33				
			達成率		100.0%					
漁港機能保全計画の進捗率【累計】	漁港機能保全計画(泊ヶ内漁港)の事業費ベースによる進捗率	漁港機能保全計画(泊ヶ内漁港)の事業費ベースによる進捗率	目標	割合	70	75	80	90	100.0	
			実績		57	68				
			達成率		97.1%					
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							

指標の分析

新規就業者・漁業後継者、白杵ん地魚認定店の数に関しては、目標通りに進んでいます。また、漁港機能保全計画についても、若干目標より下回っているが、おおむね想定範囲内で順調に推移しています。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R2調査)	検討領域	2.53	1.90
市民意識調査結果分析	令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。		
	「うすき海のほんまもん漁業推進協議会」事業活動による地魚のブランド化や地産地消の市民意識の向上等成果が出てきていると感じていますが、水産業に対する関心や意識はまだ低く、市民を対象にしたPRイベントの開催、地産地消や魚食の重要性の啓発、PR等を継続的に進めていく必要があります。		



<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	漁協組合員数の高齢化による組合員数の減少が今後考えられ、担い手の確保及び育成が重要と考えます。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1	うすき海のほんまもん漁業推進協議会事業	産業促進課	○	1,500	2,946	1,810	-	○	
2	漁業担い手育成交付金	産業促進課	○	3,600	2,200	5,640	継続	○	
3	泊ヶ内漁港施設機能強化事業	建設課	○	156,287	150,301	150,000	重点継続	○	
4									
5									
6									
7									
合計				161,387	155,447	157,450			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	漁獲量の減少と、漁協組合員の減少が進む中、「うすき海のほんまもん漁業推進協議会」事業活動を地魚のブランド化と地産地消の向上のため、効果的かつ活発に行うことにより、漁業振興を図っていきます。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	目標を達するため、現状維持とする	指標の一部は目標未達成なもの、継続した取り組みを行う施策であると評価。
------	------------------	-------------------------------------

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
海水温上昇などの環境面の問題もあり、漁獲高自体が減り、さらに魚価単価も下がっていて、危機的な状況だが、問題が大きく、市や市民レベルでは解決が困難。養殖業は、外部からの新たな資本を活用することで産業として継続することが可能だと感じている。また市としてブランド化する魚介類を決め、より高額化するための企画作りを検討できないか。ふるさと納税の返礼品は豪華化で好評を得ており、また、市内の料理店で提供する海鮮丼などは、評価が高く、近隣から来訪いただいている。	維持

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

環境整備として、大規模なものには対応が困難なのが実情、稚魚稚貝の放流などこれまでの支援は引き続き行いたい。養殖は、カボスぶりなどを県と協力しながら注力して取り組んでいる。ブランド化可能な魚種もあるが、入手方法や販売ルートの状況などにより、早急に高額のブランド化するのは困難な状況となっているため、継続して取り組んでいきたい。